

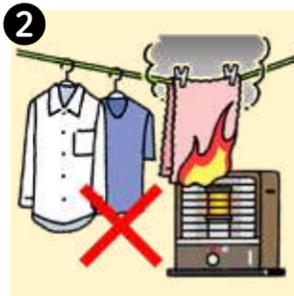
住宅防火 命を守る10のポイント

消防庁資料を基に作成

4つの習慣



1 寝たばこは絶対にしない、させない



2 ストープの周りに燃えやすい物を置かない



1 火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろなどは**安全装置**の付いた機器を使用する



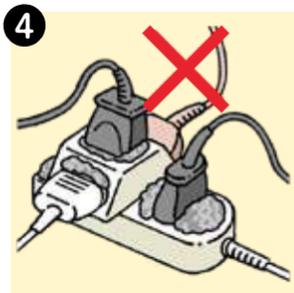
2 火災の早期発見のために、**住宅用火災警報器**を定期的に点検し、10年を目安に交換する



3 火災の拡大を防ぐために、部屋を**整理整頓**し、寝具、衣類※およびカーテンは、**防災品**を使用する
※防災エプロンなど



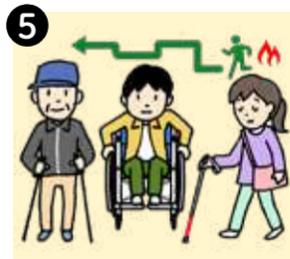
3 こんろを使うときは火のそばを離れない



4 コンセントはほこりを清掃し、 unnecessary プラグは抜く



4 火災を小さいうちに消すために、**消火器**などを設置し、使い方を確認しておく



5 お年寄りや体の不自由な人は、**避難経路と避難方法**を常に確保し、備えておく



6 防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、**地域ぐるみの防火対策**を行う

地震による電気火災は感震ブレーカーで予防!

感震ブレーカーとは、地震を感知すると自動でブレーカーを落として電気を止める装置です。

設置方法が分からない

費用がかかりそう...

全国の普及率は約5%

出典：内閣府「防災に関する世論調査(令和4年9月)」

コンセントタイプ	簡易タイプ
コンセントにつないだ機器への給電を遮断	ばねやおもりで物理的にブレーカーを落とす
約5,000~2万円	約3,000~4,000円
コンセントに差し込むだけの物と、電気工事が必要な物がある	ブレーカーに自分で簡単取り付け(電気工事不要)

※他に**分電盤タイプ**(内蔵型・後付け型)があります。

どこで売っているの?

家電量販店やホームセンターなどで買うことができ、取り付けサービスを行っている所もあります。また、設置費用の補助を行っている市町村もあるので、「感震ブレーカー 補助 ○○市(町・村)」などで検索いただくか、お住まいの市町村にお問い合わせください。

住宅用火災警報器 点検していますか?

ボタンを押す、またはひもを引いて作動確認をします。定期的に点検し、警報音を確認しておきましょう。

さあ、今すぐチェック!

正常な場合

正常をお知らせするメッセージまたは火災警報音が鳴ります。



音が鳴らない場合

電池がきちんとセットされているか、ご確認ください。



※それでも鳴らない場合は電池切れか、機器本体の故障です。取扱説明書をご覧ください。

万が一、火災に遭ってしまったら...

1 とにかく早く知らせる

小さな火や煙を見つけたときは「火事だー!!」と大声で周りの人に知らせてください。

家族や近所の人に119番通報や消火の助けを求めてください。119番通報をして、うまく伝えられるか不安でも、消防職員が丁寧に聞き取りするので、落ち着いて答えるだけで大丈夫です。



2 早く消火する

火災は一般的に「空気(酸素)」「燃える物」「高い温度」の3条件がそろったときに発生します。燃えにくい物をかぶせて空気を遮断したり、火の周りから燃える物を取り去ったりすれば、燃え広がらずに済みます。

消火器の使い方は簡単3ステップ!



3 早く逃げる

天井に火が届いたら、とにかく逃げてください。

火災で最も恐ろしいのは煙です。吸い込むと一酸化炭素中毒で意識を失い、命を落とします。家族に大声で避難を促し、濡らしたタオルやハンカチで口や鼻を押さえ、煙に巻かれたら姿勢を低くして速やかに避難しましょう。



いったん建物の外へ出たら、絶対に中に戻らないでください。